

KAORUKOブランドウェディング提案

新展開

KAORUKO

KAORUKO
代表取締役

ユカスとのコラボレーションを開催した。この間にジュエリーとブーケをアレンジしたスタイルなど、今の時代を捉えた数々の作品をいち早く創り上げ流行を作ってきた。

そして10回目となるコレクションでは、初のプリザーブドフラワーに挑戦した。プリザーブドフラワーは生花とドライフラワーの中間的な花材として注目され、最近では花の種類や色も増えている。しかしながら、ボックス内に敷き詰める「静」アレンジが中心で、プリザーブドに「動」を持たせることで、プリザーブドに新たな息吹を吹き込んだ。

この発想にプリザーブドフラワーは輸出として世界2位の

一器とフラワー・デザインが 一体化した新スタイルが



▲引退式での杉山愛選手の百合の揃れるブーケは世界に配信された

コロンビアの企業、フローラルエバー社が注目し、第10回目のコレクションをコロンビア大使館で行うことになった。また同国のプリザーブドを使い新たな可能性を見出したことを賞賛し、コロンビア大使より表彰され、感謝状を授与された。さらに世界的にエコ活動が行われているなかで、環境問題も考慮し、製造過程で壊れたプリザーブドフラワーの花びらも生かしたアレンジに取り組むなど、時代の流

れを掴んだアイデアであることも賞賛された。

このコレクションではプリザーブドの揃れるブーケのほか、独自で考案開発した技法の立体的なローズメリア、またこれまで2万組の花嫁や女優を彩ってきたオリジナルウエディング実績からヘア飾りをプリザーブドフラワーを使ったアレンジも披露した。

先日、プロテニスプレイヤー・杉山愛選手の引退試合となつた

「東レパンパシフィックテニス」においても、決勝戦で選手が持つ花束をKAORUKO独自の揃れるブーケを提案するなど、斬新なアイデアがテレビ中継された。コートサイドや記者会見の花も担当、皇后陛下、秋篠宮殿下のご来臨に伴い、昨年の皇太子殿下御来臨時同様、皇族方をそれぞれイメージしたフラワーデザインを担当するなど、活躍している。

さらに今後においては、オリ

ジナル開発のブランドアクセサリーやキラキラ輝く器などを使ったプリザーブドの認定コース、プリザーブド専門コースなどを開講する。さらに中国や韓国とのライセンシング契約により、アクセサリーや器など、KAORUKOブランドの製造、販売を行うことが決定した。独自のアイデアを即座に中国・韓国で形にし、商品化に向けたスピーディな対応の実現を図っていく。これらは一般にも流通させ、とりわけブライダル業界に向けてはKAORUKOブランドウェディングとしてホテルに器とフラワーデザイン一体とした提供をしていく。既存の花屋の既得権を侵害しないやり方で従来どおりの花屋が作るが、美意識の高い女性の間でカリスマ的人気のKAORUKOの器とフラワーデザインを取り入れることをPRできることからホテルのプランディングに貢献する。

「これからも時代を捉えた新たな発想で、斬新かつ女性の心を捉えるデザインの提案をし続けていきます」とKAORUKO氏は語る。

皇室・各国大使館・一流企業に認められる技

KOERUKO作の揃れるブーケ手に選手コートへ入場

杉山愛選手引退式やロイヤルボックス、貴賓室も手掛ける

東レ・パンパシフィックテニス

今秋、9月25日～10月3日まで有明コロシアムで開催された「東レ・パンパシフィック・テニス」。女子プロテニスプレイヤー・杉山愛選手の引退試合となり注目を浴びると同時に、KAORUKOの揃



▲優勝のシャラボウのブーケも担当

れるブーケが世界に配信された。

それは世界ランキングトッププレイヤーたちが、コートに向かう際に、KAORUKO作の揃れるブーケを手にし入場したからだ。選手のユニフォームやイメージに合わせてデザイン、杉山愛選手は百合、引退式にもそのカサブランカの揃れるブーケを手にし、そして優勝を飾ったシャラボア選手はプリザーブドの揃れるブーケで有終の美を飾った。また昨年の皇太子殿下に引き続き、皇后陛下、秋篠宮殿下ご来臨の際の、ロイヤルボックスや貴賓室のアレンジも手掛けるなど、まさに世界から注目されている。

コロンビア大使館



プリザーブドフラワーに新たな風を吹き込む

コロンビア大使館にて「第10回KAORUKOフラワーコレクション」が開催されるとともに、コロンビア大使より感謝状が授与された。それは

世界2位のプリザーブドフラワー輸出国であるコロンビアの花材を使い、プリザーブドに新たな息吹を吹き込んだ功績に対するものだった。今回のコレクションはコロンビアのプリザーブドフラワーを扱うフローラルエバー社

ジされた「揃れるヘアアクセサリー」は、立体的に花嫁のヘアを彩り、花が生きているかのような躍動感と愛らしさの2面性を融合させたアレンジとなった。またオリジナルビーズやキラキラ小物と組み合わせたブーケとヘアアクセサリー、若い女性に流行のリボンを花びらで構成したり、ガーデニアミリア（ケチナシの花びらの立体的構成）ヘアアクセサリーなどの和装のヘア飾りとブーケのコーディネートなど、斬新なデザインが披露された。全国のブライダルや、花関係の来客が毎年ヒントを探しにやってくるシヨード。

また今回は、ショーチケット収益金の一部をコロンビアの貧困孤児支援のために、コロンビア大使を通じて寄贈するなど、社会的貢献にも寄与したコレクションとなった。